

# 入賞作品集

## ☆ 優秀賞

### 【一般建築】

作品名(建築物名称)	株式会社アクトリー 複合研究開発センター	所在地	白山市
建築主	株式会社 アクトリー		
設計者	株式会社 五井建築研究所		
施工者	真柄建設株式会社		



#### 【講評】

環境創造企業の複合研究開発施設であり、エコロジー・オフィスでもある。そのため、太陽光発電やクールヒートトレンチによる熱利用、Low-E ガラスと電動スクリーンによる採光調整、井戸水漏水などの技術を最大限に利用し、室内にはエコガーデンも備えている。

1階にはラウンジや会議室、エコガーデンが配置され、大きな吹き抜けを持つ2階はオープンなオフィス空間とリフレッシュコーナーが配置されている。鉄骨造ではあるが、1階の天井や床は無垢の木材、また2階天井は自然採光を取り入れる県産杉材の木格子となっており、エコオフィスに相応しい落ち着いた内装となっている。エコガーデンも演出ではなく、一つの研究テーマとして北陸の気候で屋内の低・高木ガーデンが保てるかの試みとなっている。

建築はシンプルな空間構成であるが、端正なプロポーションで細部も繊細な造りとなっている。シャープな鉄骨建築ながら自然を生かした内装とも無理なく調和し、質の高いデザインとなっている。このようなエコ施設が、次世代の都市環境に資する成果を上げていくことを期待し、その社会的意義も評価したい。

# ☆ 入 選

## 【一般建築】

作品名（建築物名称）	金沢プール	所在地	金沢市
建築主	金沢市長 山野之義		
設計者	株式会社 梓設計 関西支社		
施工者	清水・大鉄・豊蔵・双建特定建設工事共同企業体他		



### 【講 評】

北陸で最大の国際公認の競技用プールであり、その社会的意義は極めて高い施設である。大空間を確保するための構造デザイン、競技用プールや客席空間の快適性を維持する環境設備、施工精度など全てに高い技術が施されている。

この施設のデザインで特筆すべきは柔らかな曲面状の大屋根と木箔ウォールである。大屋根は背後の山並みとの重層性が設計コンセプトとされているが、その説明を重くには受け止めていない。むしろ、このエリアにこれから様々な大型のスポーツ関連施設が建設されていく中で、幹線道路側から見た際に、この曲面の大屋根がこれらをどのように柔らかに繋げてくれるのか、そのランドスケープとしての効果を期待したい。

木箔ウォールも大きな壁面に有機的で豊かな表情を与えるものであるが、曲面状の柔らかな外観フォルムと市松模様の外壁のマッチングには賛否があるかもしれない。ただし、これまでの金沢にはない人目をひきつける建築であることは間違いなく、そのシンボル性も一つの社会価値として評価したい。

# ☆ 入 選

## 【一般建築】

作品名(建築物名称)	NGKセラミックデバイス石川工場	所在地	能美市
建築主	日本ガイシ株式会社 NGKセラミックデバイス株式会社		
設計者	株式会社日建設計 一級建築士事務所		
施工者	株式会社大林組名古屋支店		



### 【講 評】

国道8号線に面する精密部品の大型生産施設である。精密部品の製造工程上、室機能や設備性能、空間規模や構成などには厳しい条件制約があり、自由な空間演出を試みる余地はほとんどない。むしろ、この生産施設で評価すべきは、無表情で圧迫感のある外観に対する丁寧なデザインにある。

メインの「素子棟」は外観をツートーンで色分けし、それぞれの外装材を変えて同一壁面に異なった表情を与えている。特に、横方向に配置し水平ラインを強調させたダーク色の折板は肌理の細かな表情となり、壁面の圧迫感を軽減し落ち着きを感じさせる。また、折板の継ぎ目部分も水平の連続性が損なわれないよう納まりに配慮されている。

計画上の工夫としては、機械室を外周部に配置し、点検や交換時においても生産作業が阻害を受けないこと、また製造管理の居室ゾーンは、階段室のエコシャフトを利用した自然換気で省エネルギーと快適性を実現していることがあげられる。国道より奥側の「テープ棟」にも同レベルの外観上の配慮がなされていればなお評価が高まった。

# ☆ 入 選

## 【一般建築】

作品名（建築物名称）	尾山神社 授与所	所在地	金沢市
建築主	尾山神社		
設計者	株式会社 浦建築研究所		
施工者	株式会社 サンテン・コーポレーション		



### 【講 評】

尾山神社は金沢を代表する神社であり、常時地域の人々や観光客が訪れ、また正月には非常に数多くの参拝者で賑わう。疑洋風建築である神門や金沢城金谷御殿の庭に手を加えた神苑など、文化的にも価値の高い境内であり、新築の授与所はその価値を損ねることのできない責務を負う。

その結果、透明感のある建築で存在感を消し、周囲と同調するデザインが提案された。これはルーブル美術館のガラスのピラミッドと同じ考え方であるが、むしろこれが加わることでさらなる価値を引き出すことも重要と考える。この授与所はシンボルツリーの大松の背後に配置され、正月の繁忙期には拝殿で参拝した人々の列が無理なく授与所に流れ、神苑に向かう計画となっている。その際には、カウンターを開け放ち、深い軒下空間を接客空間にできる建築的工夫もある。

また平日でも、授与所の中に立ち寄ると全方位に境内や神苑を見渡すことができ、ピクチャレスクとして周囲の美しい景色を再認識させる。天気の良い時には風の抜けも心地よい。建築としては極めてシンプルではあるが、細部も丁寧に納めており好感の持てる作品である。

# ☆ 入 選

## 【住宅建築】

作品名（建築物名称）	駅西新町の小さな三角屋根
建築主	匿名
設計者	匿名
施工者	株式会社 金澤木房 en 樹（かなざわきぼう えんじゅ）



### 【講 評】

建築が地域に参加する意義とそのあり方を丁寧に見据えた住宅である。「後から建てること」は、隣接する既存建築に対するリスペクトと最大限の思いやり、また「先に建てること」は将来参加してくるであろう建築への配慮があり、これらがコンセプトとなっている。その結果、7寸勾配の小さな三角屋根を持つ住宅が出来上がった。この三角屋根は隣接する建物の採光や通風を確保し、「後から建てる責任」を果たしている。

内部空間は、周辺への配慮からの窮屈な制約を感じるものとはなっておらず、プライバシーを確保しながらも視線の広がりを感じ、明るい採光を取り入れながら風通しのよい居住空間となっている。1階はテラス・リビング・キッチン・プレイルームを一体として広がりを感じる構成とし、また吹き抜けを通して2階の主寝室や子ども部屋とも一体的につながる空間となっている。この快適性は、後に隣接して建つ建築があっても十分守られており、「先に建てる責任」を果たしている。

奇をてらうことではなく、その必然から生まれた小さな三角屋根の下には豊かな住空間が実現されている。

# ☆ 入 選

## 【住宅建築】

作品名（建築物名称）	小立野の高窓
建築主	匿名
設計者	ハルナツアーキ
施工者	二宮建設株式会社



### 【講 評】

北側に天徳院の境内が隣接する、南北に細長い敷地に建つ町家型住宅である。1階表側にはミセノマに当たる広い玄関スペースがあり、駐車場と一体的に利用することも想定されている。その奥のトオリニワのような廊下の突き当りに主寝室があり、その窓外には天徳院の緑が大きく映えている。

玄関前の吹き抜け階段を上るとキッチンに面し、その上部の火袋（吹き抜け）の部分に高窓がある。高窓は伝統的町家にみられるが、これを現代建築にアレンジして中央部に大きく光を取り入れた。2階はキッチン・ダイニング・リビングが一体となっており、階段を挟んで南側（表側）に明るい子供部屋が繋がっている。その中心にある高窓は採光や通風に資するだけでなく、居住空間全体に高さによる開放感を与え、さらにトリミングした空をピクチャレスクとして室内に取り入れている。

短辺（東西）方向の耐力壁は1階では水回りの間仕切りと合理的に一体化させ、2階ではキッチン周辺の家具と一体化させながら、室内の狭小さを軽減させる工夫がなされている。敷地条件に綿密に対応しながらも、広さや豊かさを引き出す設計となっている。

# ☆ 入 選

## 【住宅建築】

作品名（建築物名称）	M邸・リノベーション
建築主	匿名
設計者	松島健建築設計事務所
施工者	株式会社 夢工場



東立面 リノベーション後

### 【講 評】

高齢母子の「終の棲家」であるが、住み慣れたまちなかを望むため狭小鉄骨建物のリノベーションとした。既存建物は、1階は店舗、区画された2・3階は住居の仕様となっており、内部空間は狭小で採光が少なく風通しの悪い状態であった。以上のように、高齢者住居としては極めて条件が悪く、リノベーションに対する制約も多い。

これに対して、位置変更した階段を透かして壁を造らず、また1階の母親の部屋と水回り以外には建具を配さず、3層全体がワンルームとなる開放的な空間を実現した。さらに、短辺方向西側（表側）および東側（裏側）に大きな開口を設け、表側からの採光、裏側の尾山神社境内の緑や涼しい風を住居内に大きく取り込み、水平にも広がりを感じる快適な住空間としている。

設計者はリノベーションに臨み、既存建物の気配を消すことは望んでおらず、鉄骨フレームなどはそのまま見せてデザインしている。終の棲家とは建築単体のみならず近隣環境も含めると考えるならば、この住宅はその期待に大きく答えたものとなっている。



東立面 リノベーション着手前



西立面 リノベーション着手前



西立面 リノベーション後